



すべての人々の  
「well-being（幸せ）」を守り、高める。

**いちばん、人を考える**



Dai-ichi Life  
Holdings



2023年3月2日  
個人投資家向け会社説明会  
第一生命ホールディングス株式会社  
(証券コード：8750)

# 第一生命グループの概要

創業



第一生命グループ

**120**周年

国内保険料等収入



第**2**位

グローバル展開



**9**ヶ国

## すべての人々の「well-being（幸せ）」を守り、高める。

幸せを生み出す3つの人生資産「お金」「健康」「つながり」

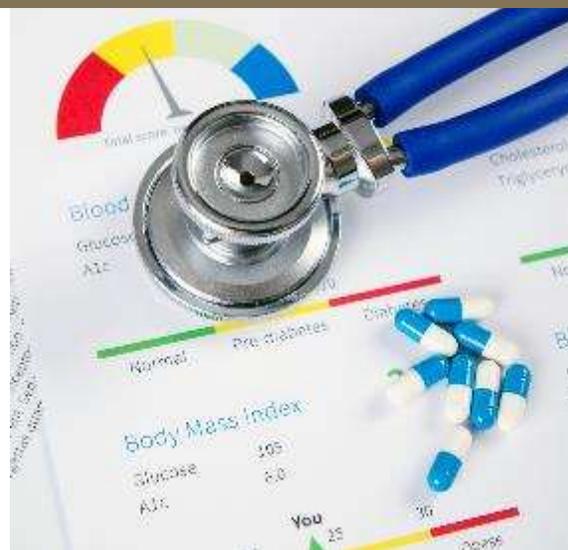
第一生命グループがお届けする4つの体験価値



保障



資産形成・承継



健康・医療



つながり・絆

## 評価 TOP 3

1

安定性

2

株主還元

3

収益性

## 懸念 TOP 3

1

将来性

2

収益性

3

独自性

# 安定性

---

# 生命保険事業のサブスク的特徴

売り切り型



販売する都度の売上で収益がブレる可能性



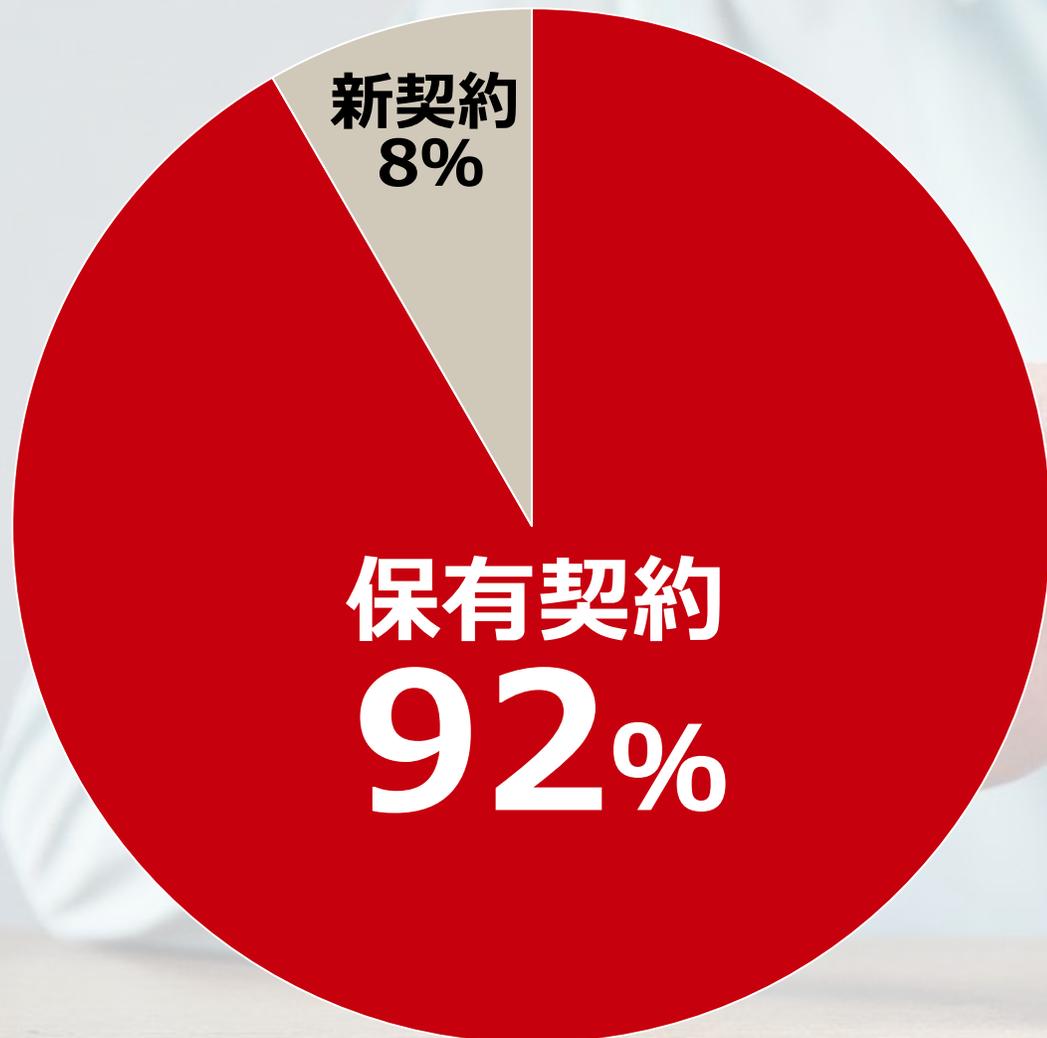
生命保険



継続的な契約に基づく収益で長期安定的



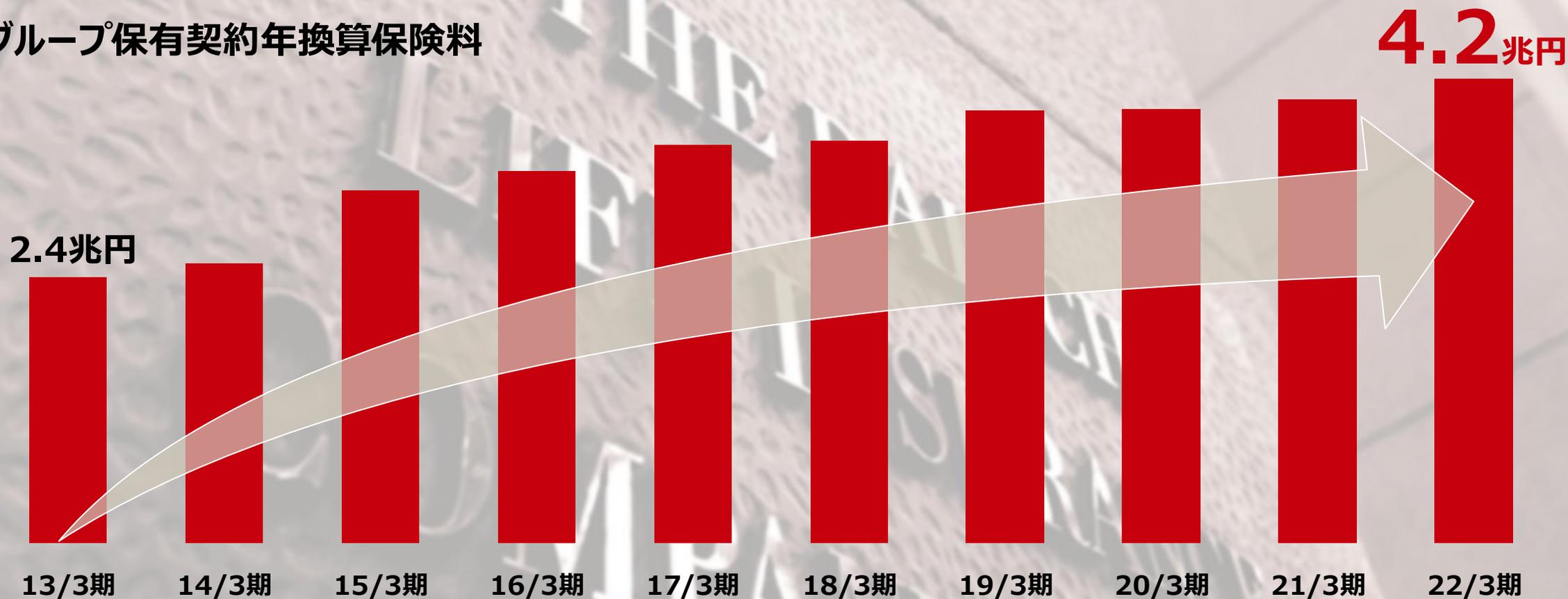
保険料等収入（第一生命単体・2022年3月期）



保険料等収入  
9割以上  
保有契約が創出  
↓  
利益の源泉

## 保有契約は着実に増加

グループ保有契約年換算保険料



## 事業分散の効いた確固たる事業基盤

### 国内生命保険事業

各商品・チャンネルに強みを持つ4社  
マルチブランド・マルチチャンネル



一生のパートナー  
**第一生命**  
Dai-ichi Life Group

いつでもあなたにとっておさを。  
第一フロンティア生命  
第一生命グループ

「あったらいいな」をいちばんに。  
ネオファースト生命  
第一生命グループ

第一スマートほけん

国内お客さま数 1,153万名

### 海外保険事業

先進国から新興国まで9ヶ国  
さまざまな成長ステージに展開



利益貢献 グループ全体の約3割

# 将来性

---

# 国内の事業環境・社会課題の変化

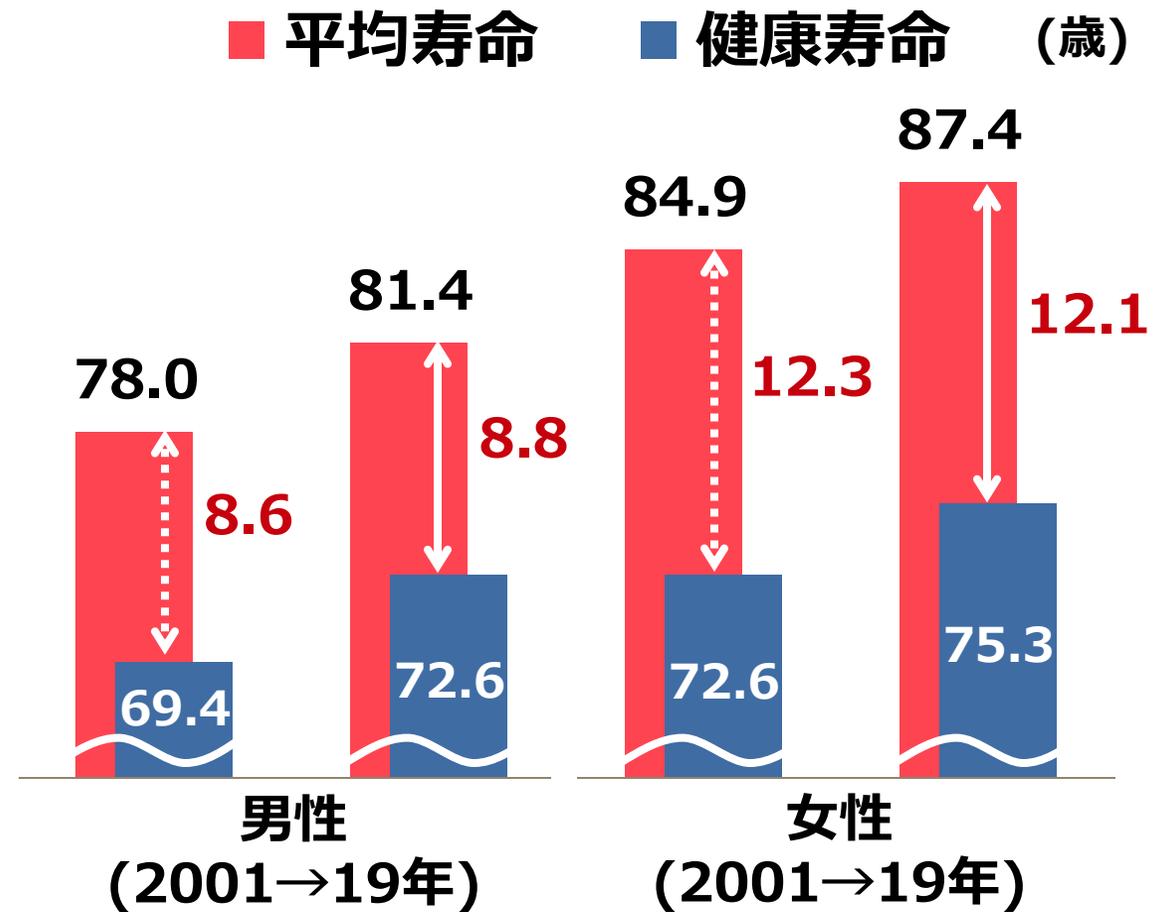
人口減少

高齢社会

老後資産  
の枯渇

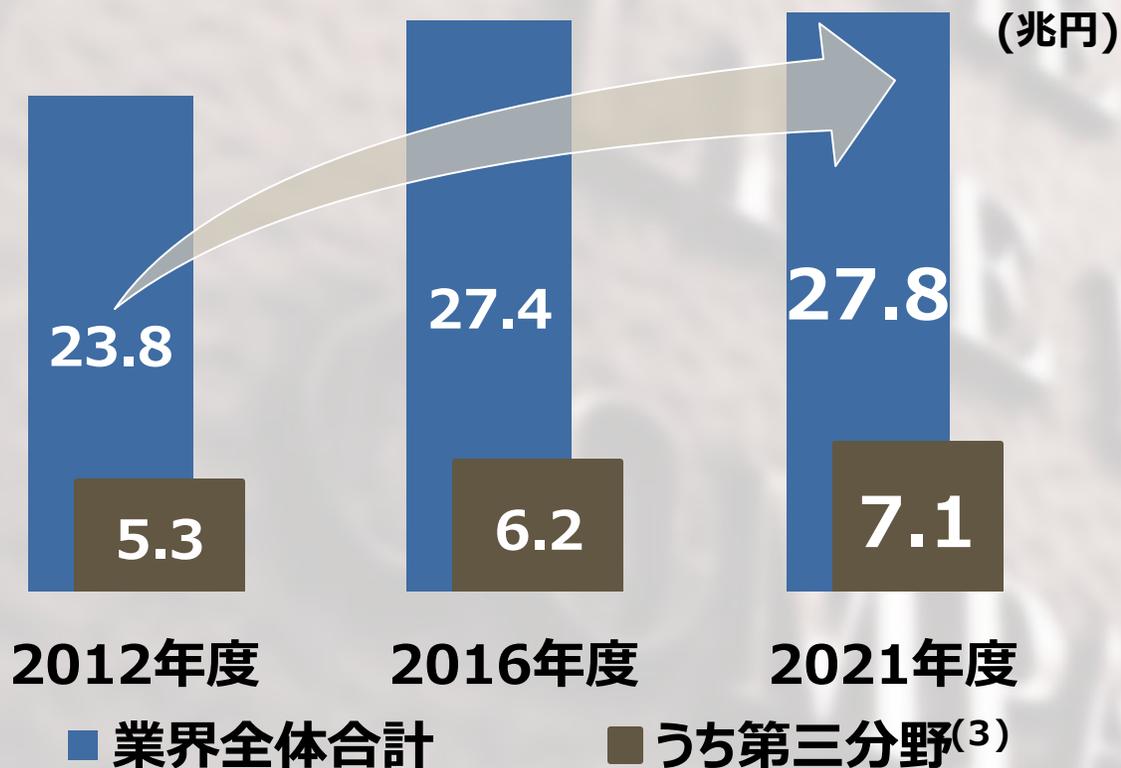
価値観  
の分断

## 平均寿命と健康寿命の差(1)

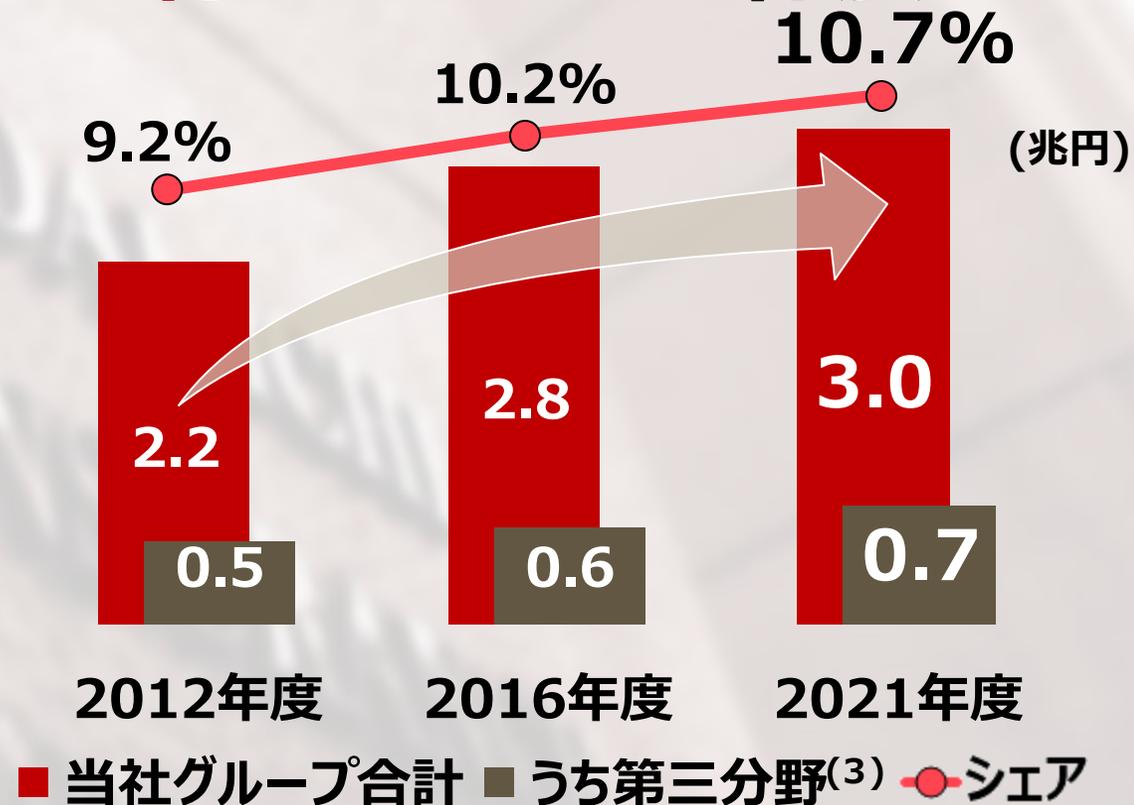


# 生命保険市場（個人保険・個人年金）の推移

業界全体<sup>(1)</sup>の  
国内保有契約年換算保険料  
約**116%**に伸展



当社グループ<sup>(2)</sup>の  
国内保有契約年換算保険料  
約**136%**に伸展



※出典「生命保険の動向」（2022年度版）を当社にて加工

(1) 生命保険協会加盟42社 (2) 当社グループ国内生命保険会社3社計（第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命） (3) 第三分野には医療保障給付、生前給付保障給付等が含まれる

# お客さまニーズを踏まえた保障のお届け

持病がある方

シニア層

女性向け



かんたん告知  
一生涯を保障

認知症保険 **てのスマイル**

**歯の健康度で割引**  
認知症と歯の健康度に着目



**女性特有の病い**  
心身のリスクもカバー

生命保険の価値を手頃感じていただくために

若年層向け

デジタル完結型保険の発売

シンプル

簡単

スピーディー



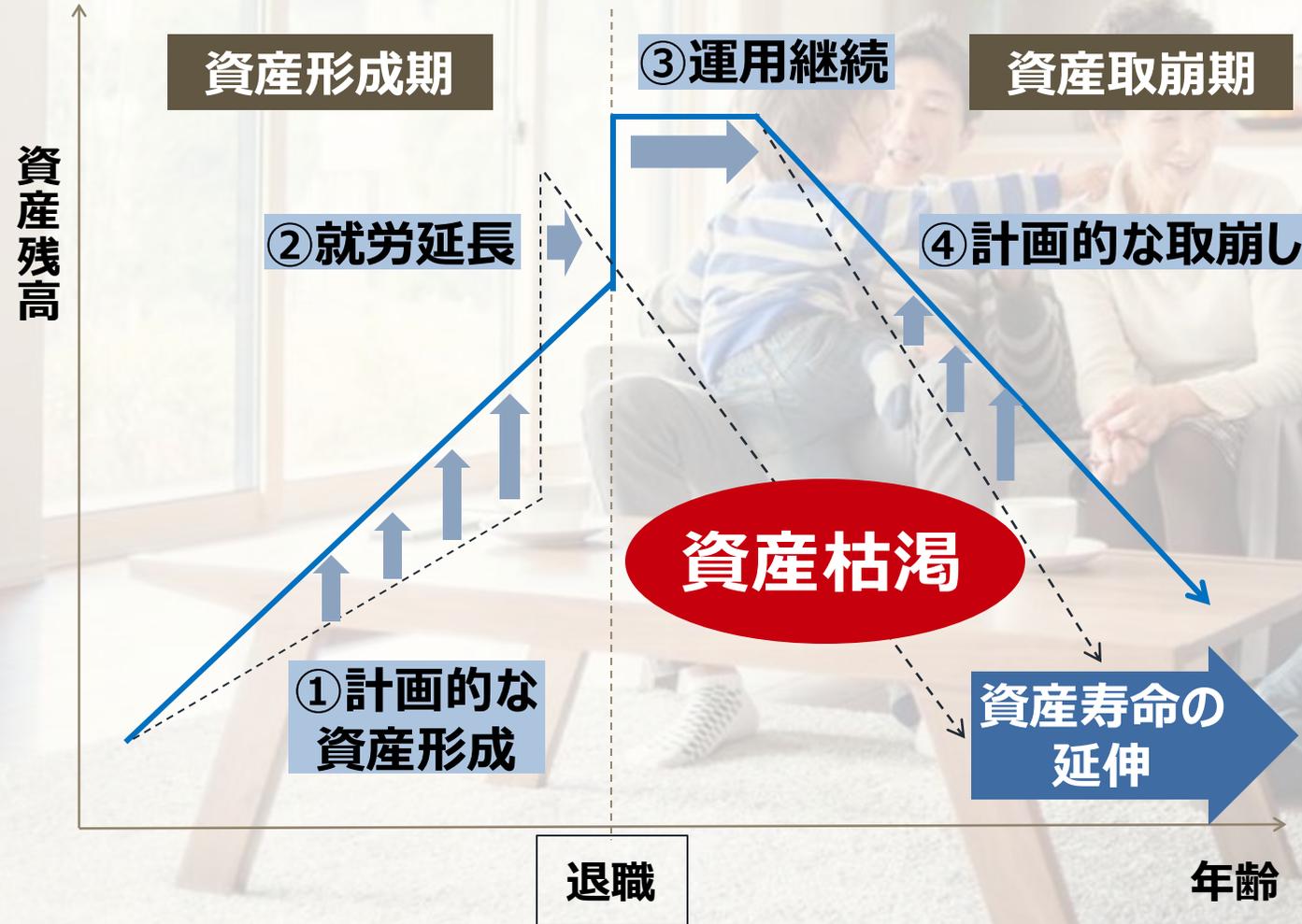
提供開始1年で

約20万件



本格的な生命保険の加入へのきっかけに

## 資産寿命の延伸



長寿化・低金利環境の  
長期化等を背景に  
資産形成ニーズの  
広がり

# 資産形成ニーズに対するソリューションを提供

## 多様な商品ラインアップ



第一フロンティア生命の保険料等収入  
(2021年度)

創業15年で約**1.5兆円**

## 資産形成サービス



年金資産の  
見える化

# 生命保険を超えたサービス（健康・医療など）の拡大

## 健康増進アプリ「QOLism」

提供開始1年のユーザーID数 **17** 万人



利用4週間後の継続率 **75** %



一人ひとりの健康増進をサポート

# お客さまとの日常的な接点を広げる

## お客さまとの日常的なコミュニケーションを生み出す 情報サイト「ミラシル」を提供

### ミラシル

by 第一生命

2021年12月～



# 従来とは異なるお客さま接点の拡大

## 国内ペット保険の大手アイペットホールディングス 株式公開買付けを経て連結子会社化

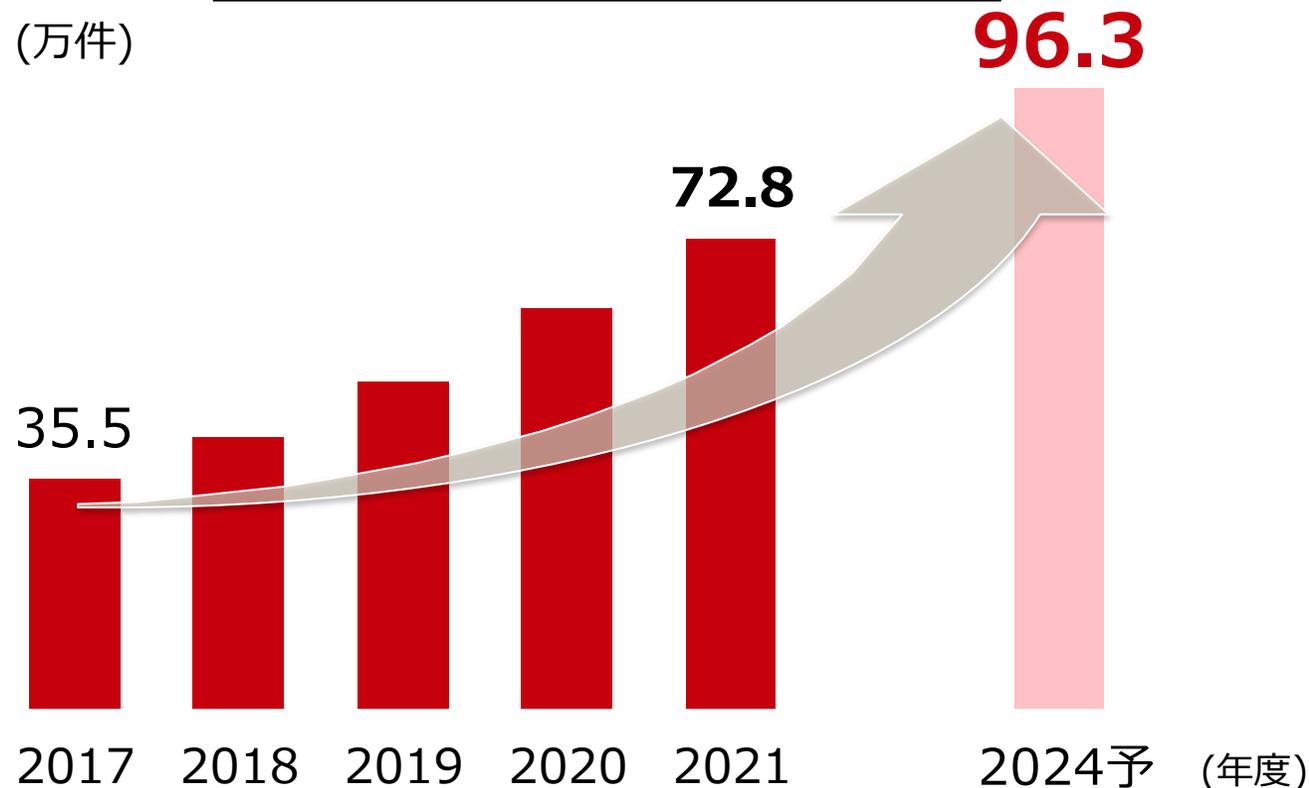


**【つながり・絆領域の拡大】**

日常生活に寄り添う存在である  
ペット関連事業への参入

アイペット社の保有契約件数(1)

(万件)



海外保険事業の開始  
2007年

アジア **1**ヶ国  
ベトナム 

進出から15年の現在  
2022年

世界 **9**ヶ国

ベトナム  豪州  タイ 

インド  インドネシア  米国 

カンボジア  ミャンマー 

ニュージーランド 

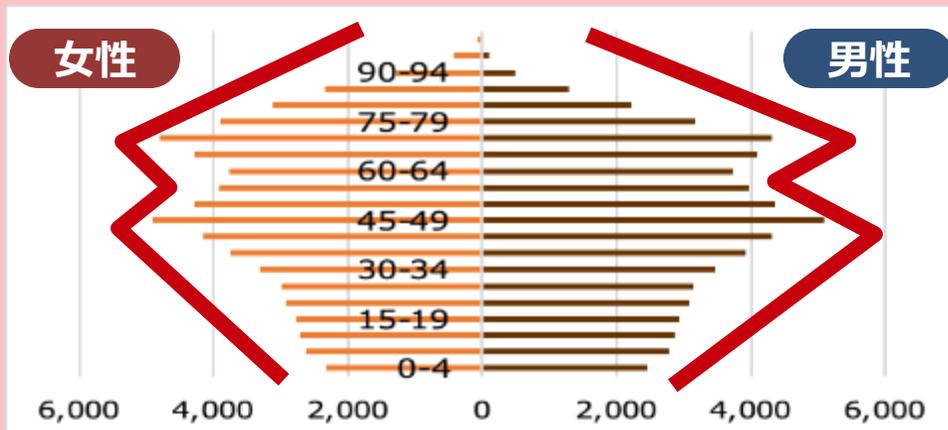
# 魅力的な伸びしろがある海外保険市場

人口推計  
(千人)

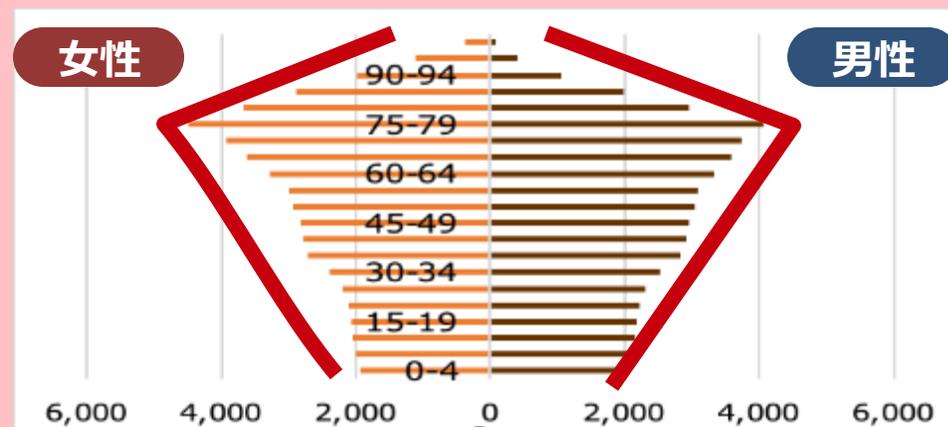
2020年

2050年

日本

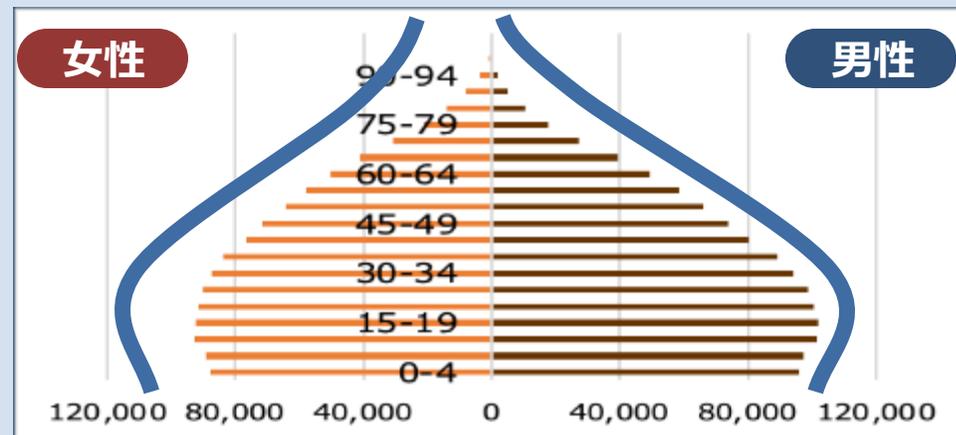


1.2億人

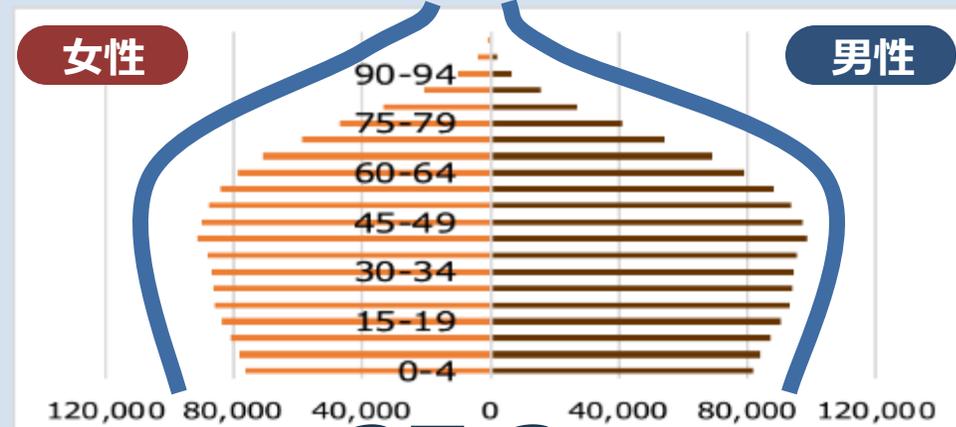


1.0億人

進出国合計



23.6億人



27.3億人

# さらなる成長に向けた投資

## 中期経営計画「Re-connect 2023」期間で新たに **3** 社を買収



2021年8月公表  
豪州

Westpac Life社

同国大手銀行との  
20年間の独占販売契約



2022年3月公表  
米国

AUL社

損保分野において  
プロテクティブと高い補完性

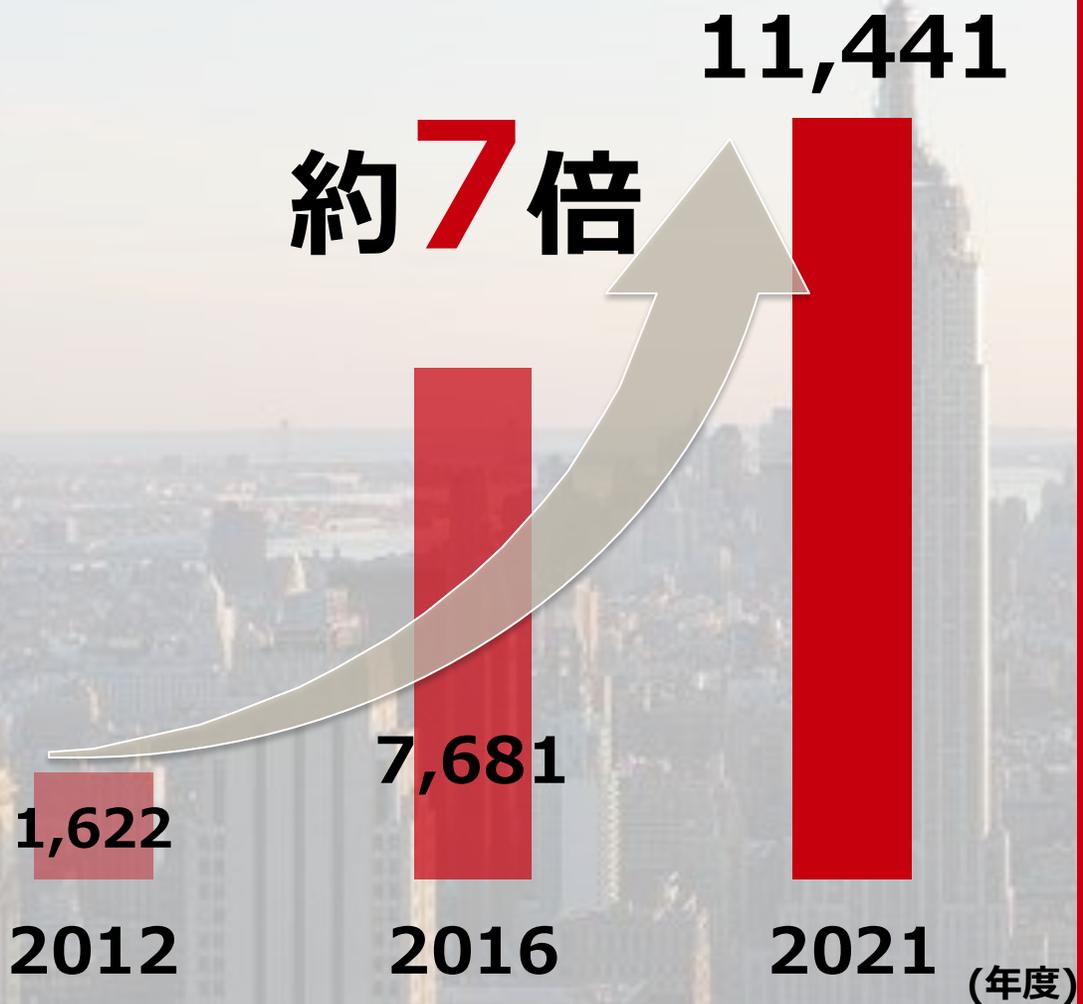


2022年8月公表  
ニュージーランド  
パートナーズ・ライフ社

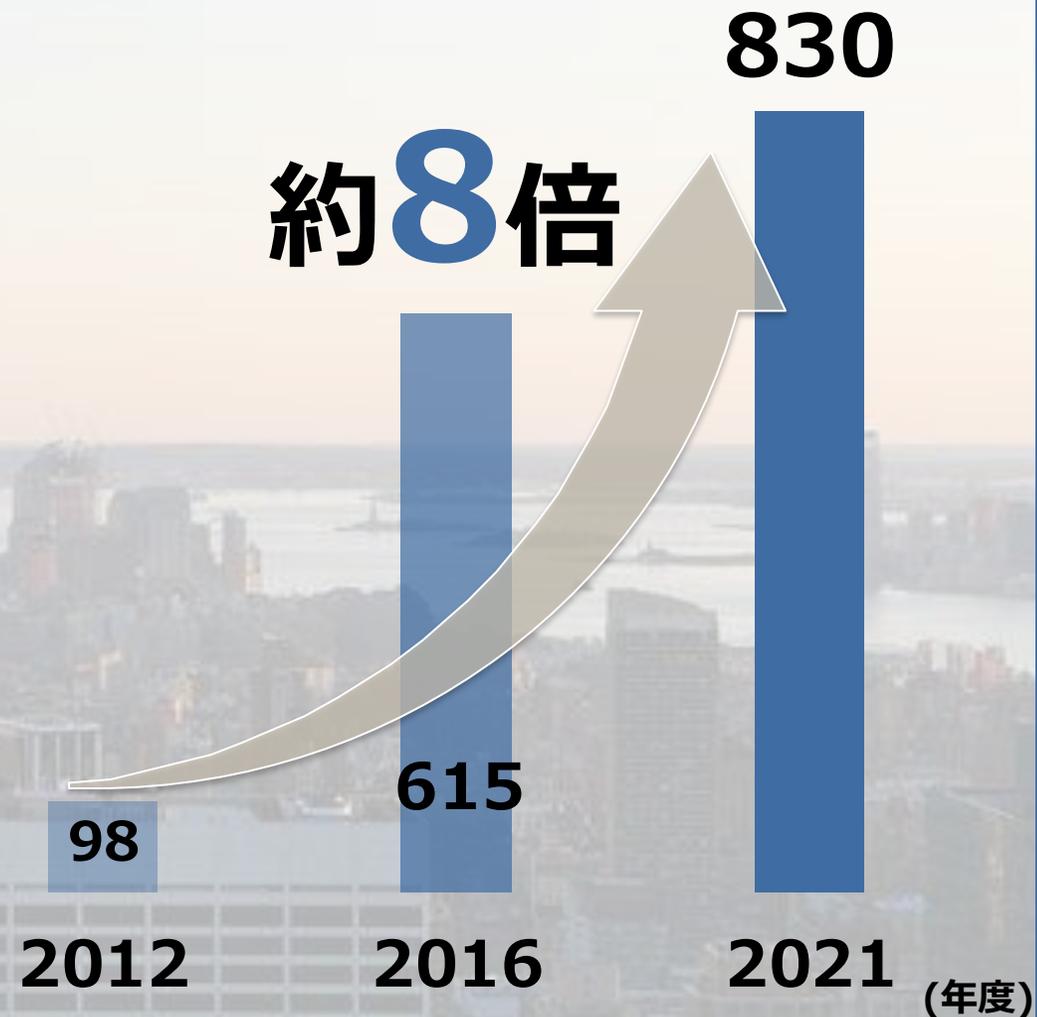
顧客ニーズに適應する  
商品開発・チャネルサポート

# 当社グループの成長を牽引する海外保険事業

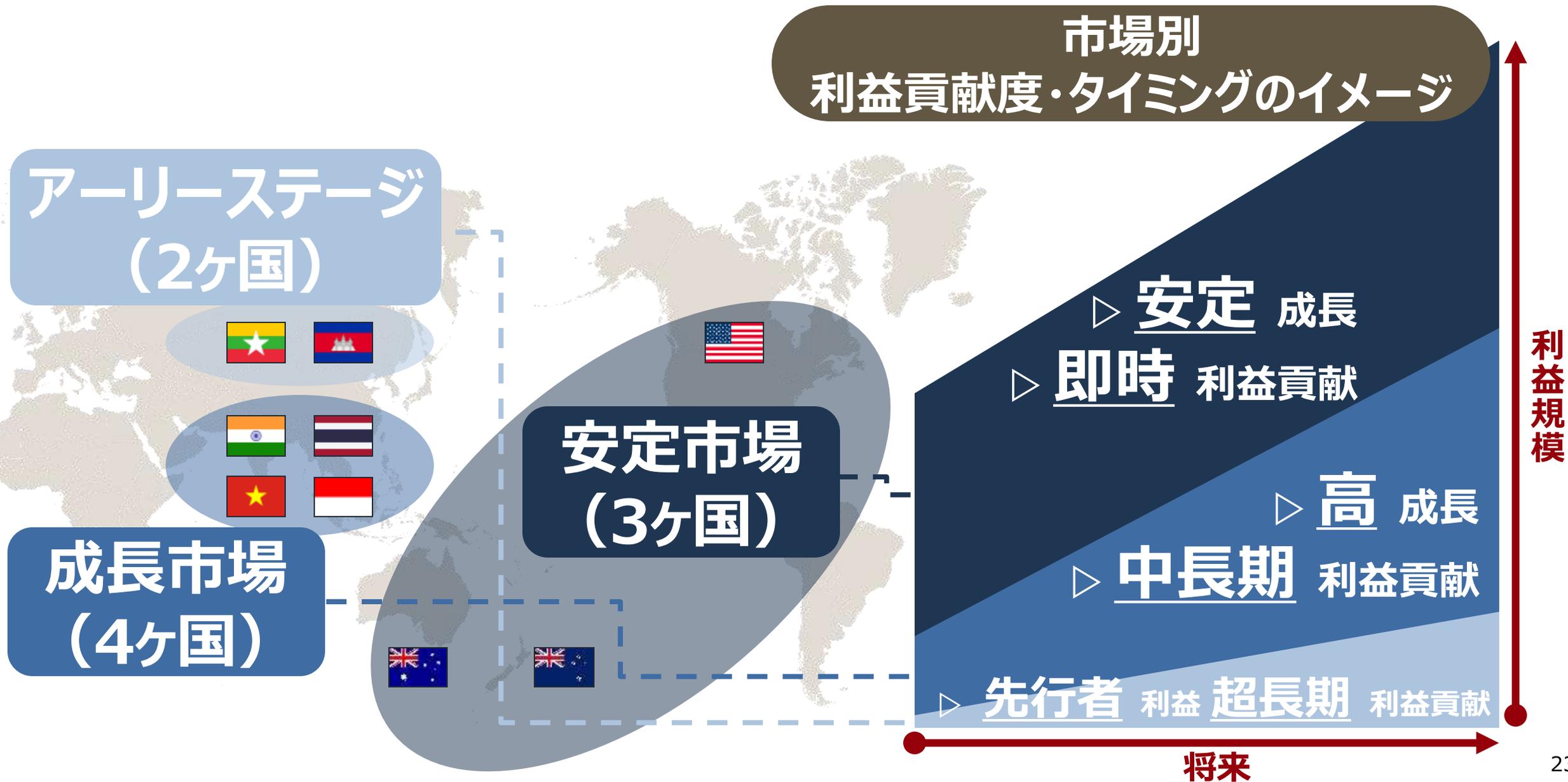
## 保有契約年換算保険料<sup>(億円)</sup>



## 修正利益<sup>(億円)</sup>



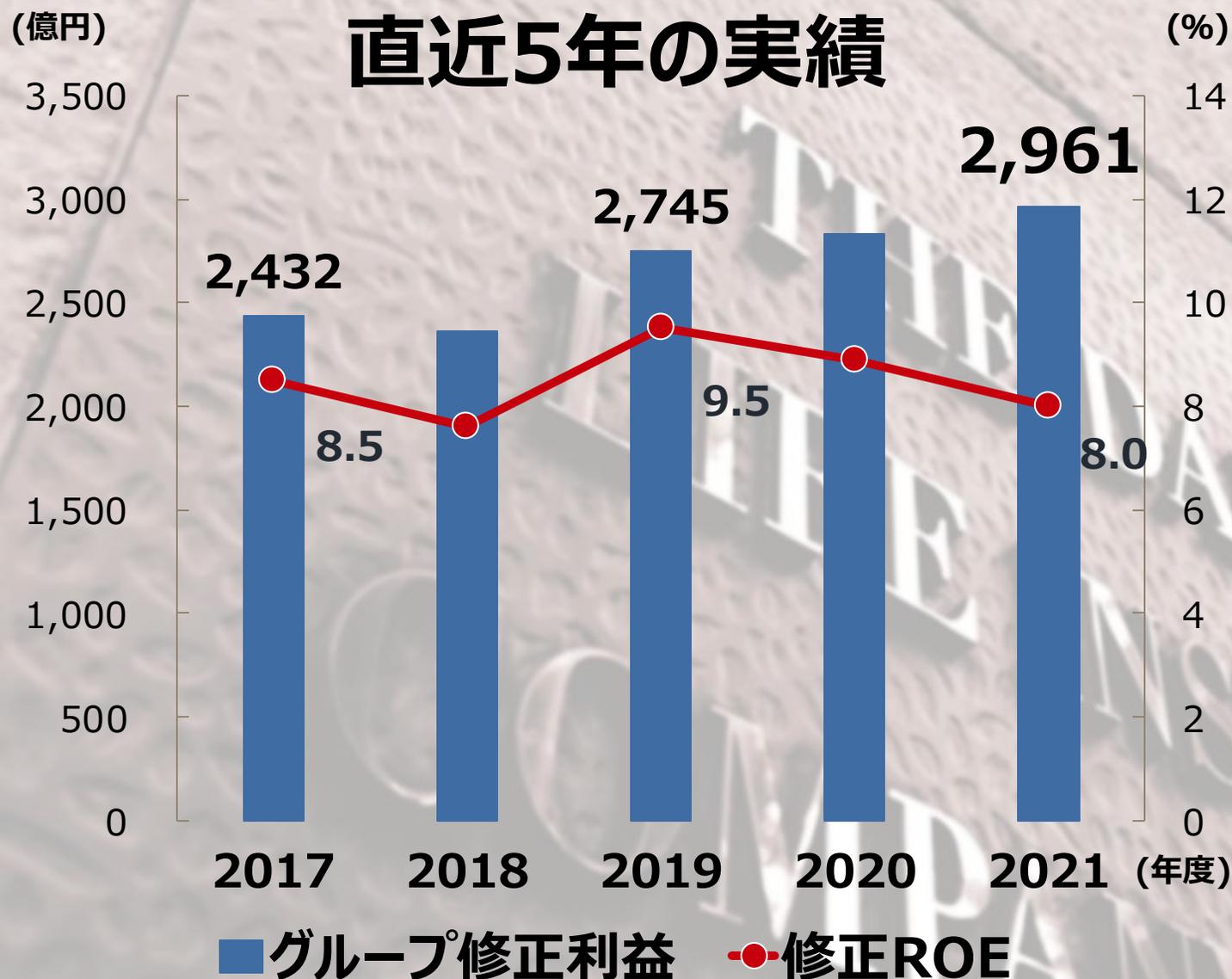
# 分散した事業展開で中長期的に安定した利益成長を目指す



# 收益性

---

# グループ修正利益・修正ROEの推移



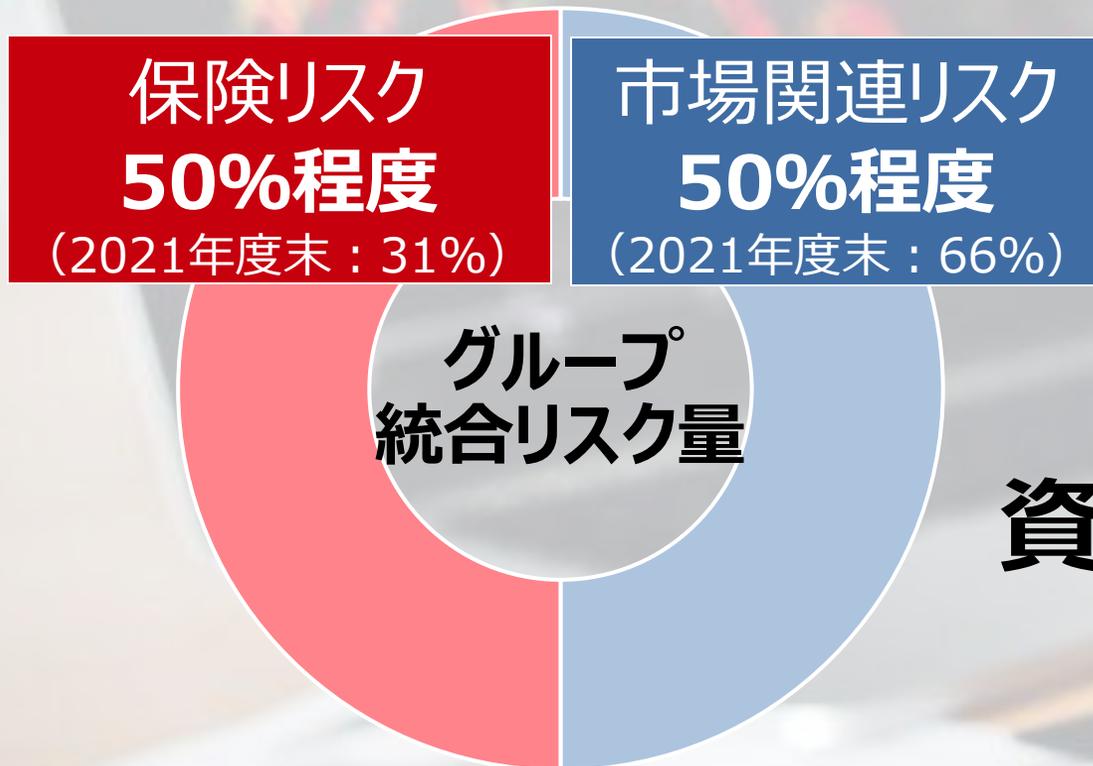
グループ修正利益は  
過去順調に推移

修正ROEは  
資本効率の  
抜本的な改善により  
向上を図る

# グループ資本効率の抜本的な改善

リスク・リターンの改善により、  
**資本コストを上回る資本効率の早期達成**を目指す

中長期的に目指す姿



資本コスト（投資家が負うリスク）  
の一層の低減が見込まれる

# 株主還元

---

## 株主還元基本方針

- ✓ グループ修正利益の水準に応じた安定的な現金配当
- ✓ 機動的・柔軟な追加還元(自己株式取得など)の検討

配当性向

毎期**30%**以上

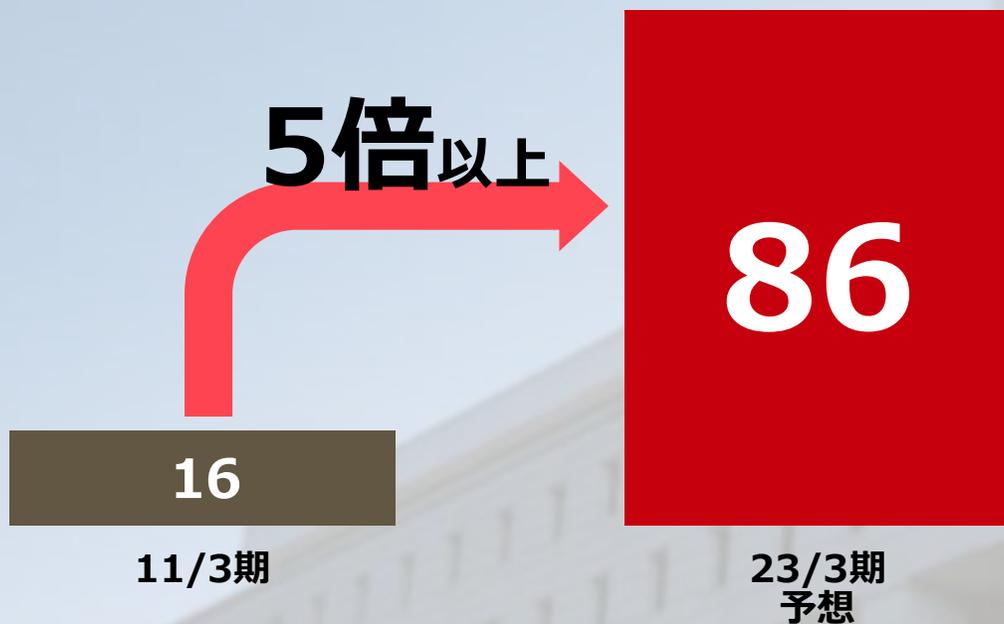
総還元性向

中期平均**50%**目安

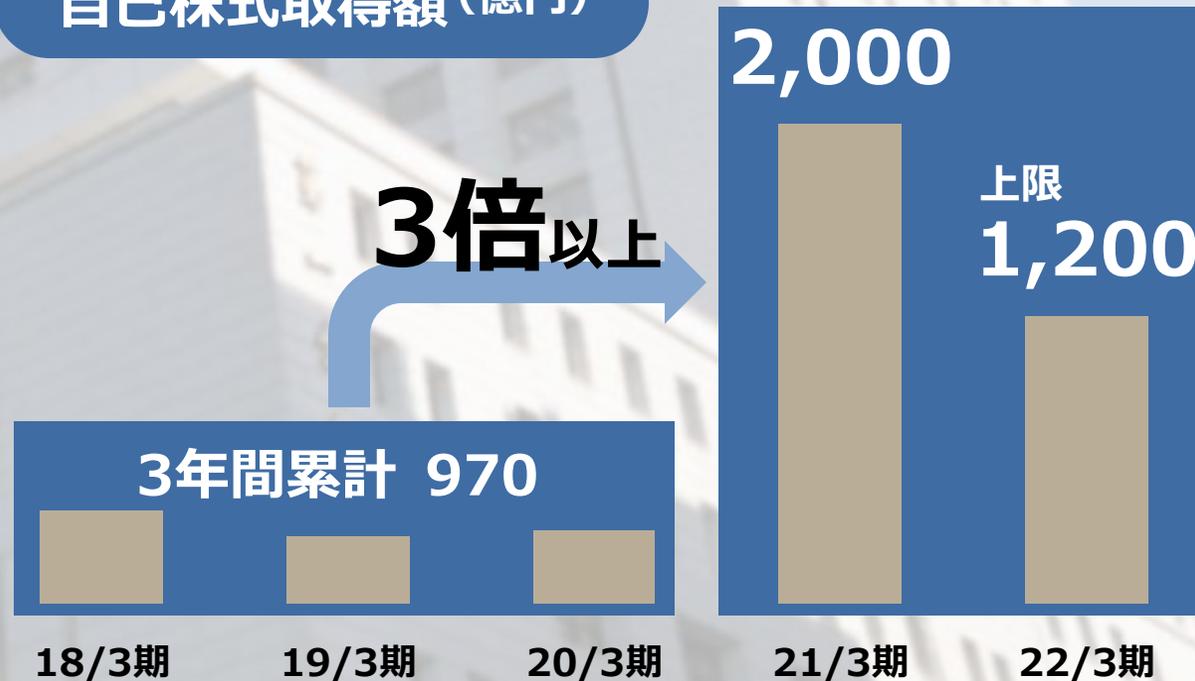
**1株あたり配当の減配は原則行わない**

# 株主還元実績

## 1株あたり配当金(円)



## 自己株式取得額(億円)



## 予想配当利回り(1)

3.0%

※23/3期予想

## 総還元利回り(2)

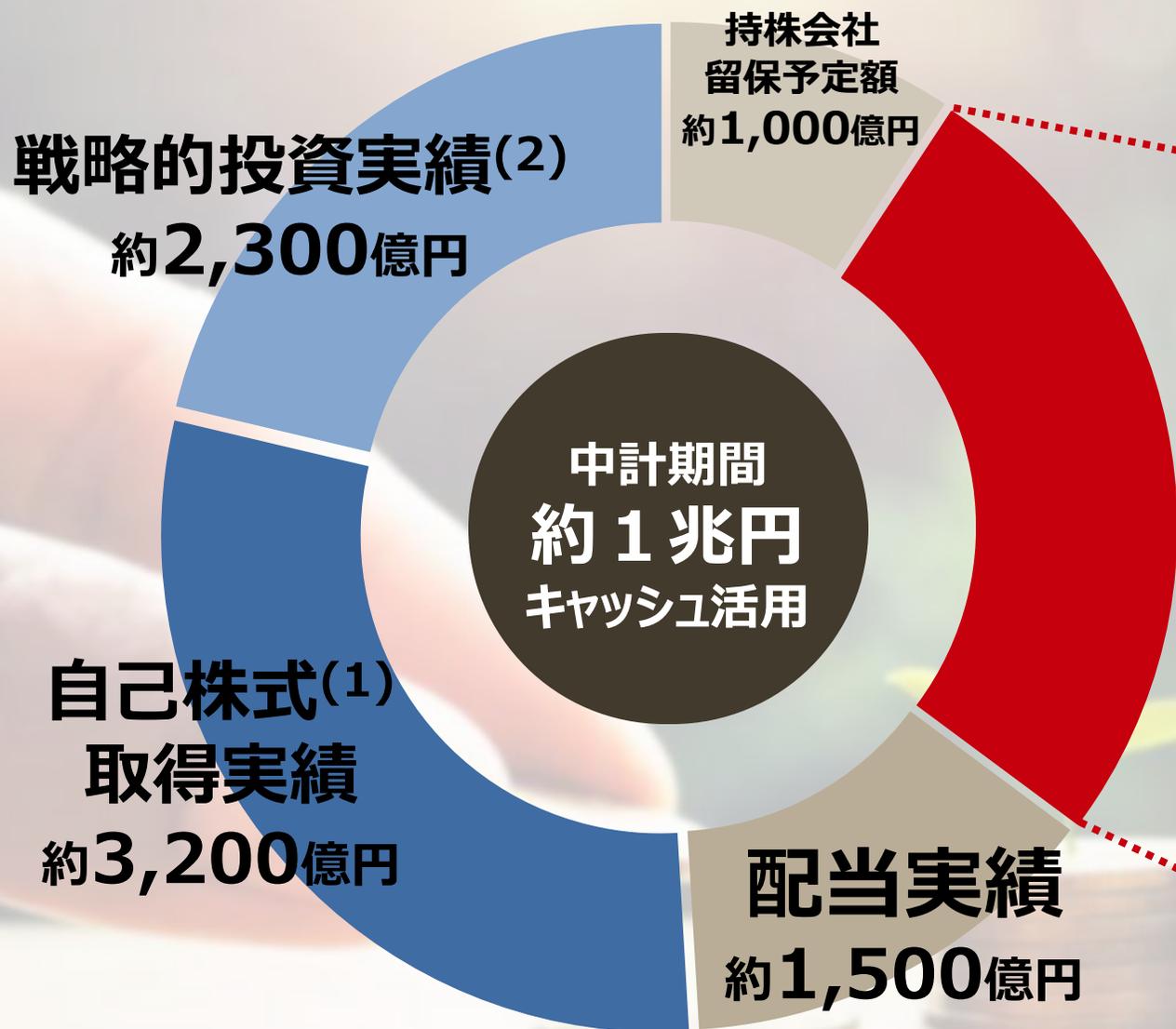
8.0%

※22/3期

(1) 2023/2/24時点における株価・23/3期配当予想より算出

(2) 22/3末時点における株価、自己株式を除く発行済株式総数、および22/3期株主配当(83円)、自己株式取得予定額(上限1,200億円)より算出

# 戦略投資と株主還元の両立



今後の中計期間中の  
株主還元と戦略的投資の原資  
約2,800億円(3)

うち次回  
配当原資(予定)  
約850億円

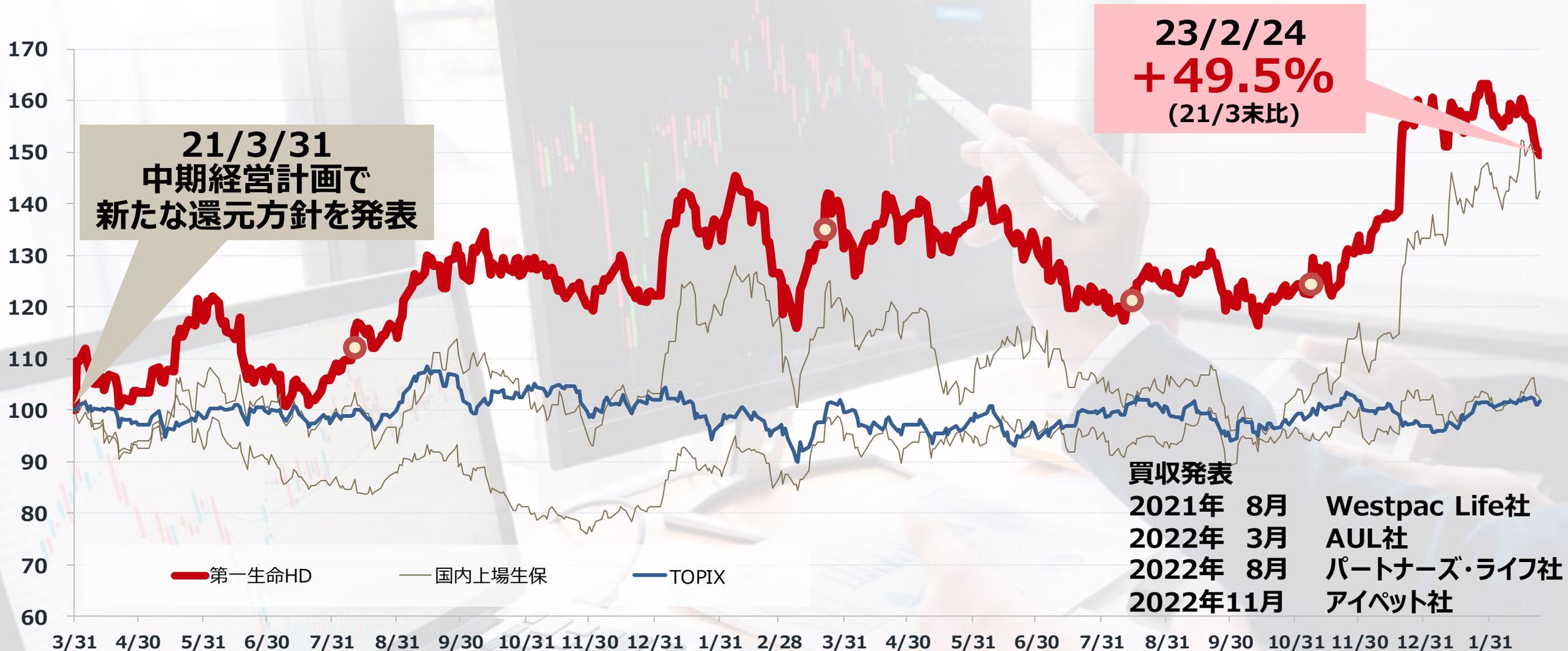
(1) 2022年5月開催の取締役会で決定している上限1,200億円の自己株式取得を含む

(2) アイベット社完全子会社化を含む

(3) 第一生命からの短期借入(約1,100億円)を含む

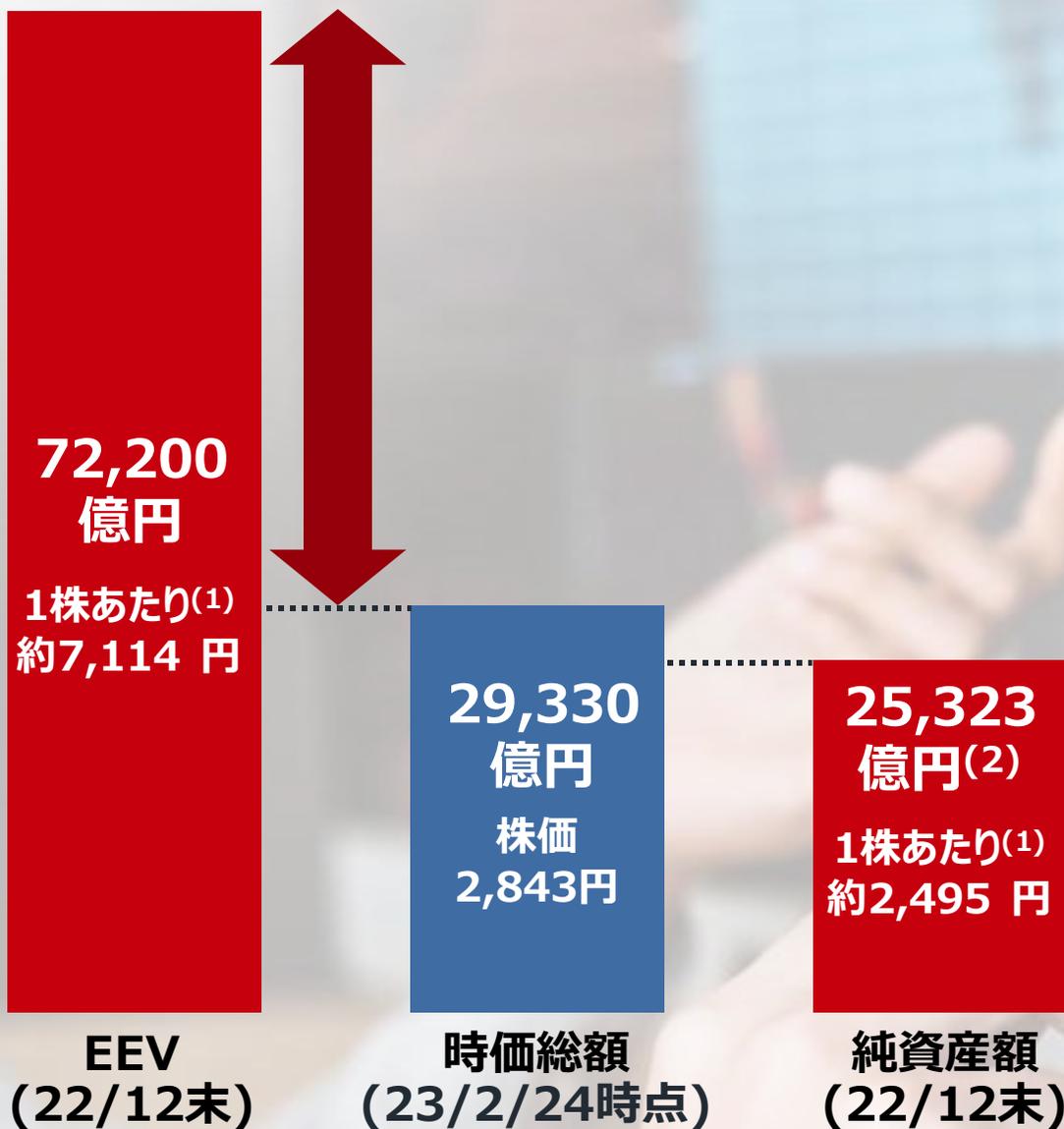
# 株価の推移

コロナや金融環境の急激な変化により上下するも、TOPIX・他上場生保を上回って推移(1)



(1) 2021年3月末の株価を100として指標化 (Bloombergより当社算出) (2) 国内上場生保2社 (T&DHD、かんぽ生命)

# 投資家の皆さまの信頼に応える企業価値向上を目指す



株価EV倍率 **0.40倍**  
PBR **1.14倍**

**継続的な向上  
を目指す**

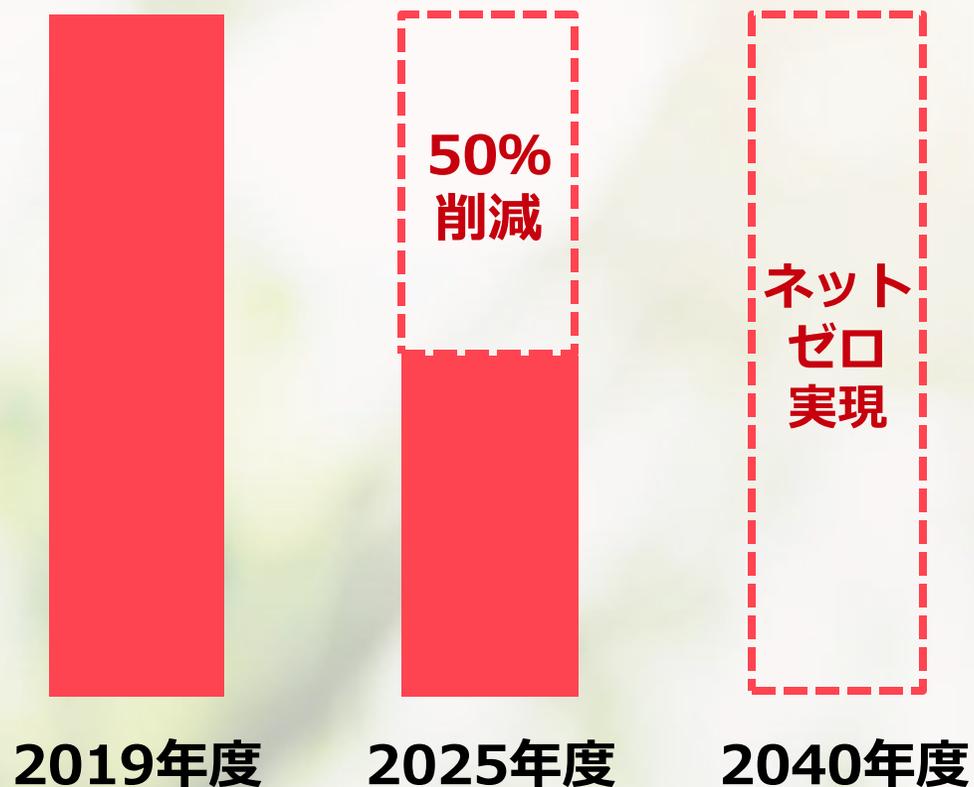
※EV(エンベディッド・バリュー)とは生命保険会社の企業価値を表す指標で、株価を判断する際の指標の一つ

(1) 22/12末時点における自己株式を除く発行済株式総数を使用して算出

(2) 新株予約権の金額を控除した額

# 気候変動に対するグローバルなネットゼロ実現へ

第一生命グループ全体・事業活動  
CO<sub>2</sub>排出量削減目標 (スコープ1+2)



 **GFANZ**  
**Glasgow Financial**  
**Alliance for Net Zero**

金融機関としてネットゼロを推進する  
グローバル・イニシアティブ

全体運営を牽引するCEOプリンシパル  
グループにアジアで初の選出

世界45ヶ国  
450社以上の金融機関

## 本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社  
経営企画ユニット IRグループ

## 免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。